

ふれあうナカマ

育む
見守る

ち、近くはない？

さっ？！
ジー育む
見守る

ふれあうナカマ

小学校高学年向け



ほるぷ出版

貸出禁止の本をすくえ！

アラン・グラッツ 作／ないとうふみこ 訳

理不尽に屈せず大逆転

ある日突然、「子どもにふさわしくない」という理由でお気に入りの本が貸し出し禁止になってしまった！

学校の図書室から消えた愛する本を救うため、エイミー・アンはあの手この手で教育委員会の大人たちに抵抗します。内気なエイミー・アンが友人たちと起こす大胆な行動に緊張の連続ですが、最後の大逆転劇は痛快です。時に挫折しながらも、

思いを口に出せるように成長したエイミー・アンから、本への愛や理不尽に屈しない力強さを感じ、胸が熱くなりました。

作品に登場するたくさんの本は、過去30年間にアメリカの図書館で実際に貸し出し禁止や異議申し立てがあった本だそうです。誰もが知る有名な本も登場するので、巻末のリストもあわせて楽しんでくださいね。
(小野寺黎さん)



海外編

先々週に続いて、宮城県図書館子ども図書室の司書さんがこの夏におすすめする一冊を紹介します。今週は海外編です。読書を通して外国に行ったような気分になるかもしれませんよ。

聊斎志異

蒲松齡 作
立間祥介 編訳

岩波少年文庫

聊斎志異

蒲松齡 作／立間祥介 編訳

界と幽霊や動物たちの世界を交錯させた不思議で奇妙かつ独特な話で、幻想的な異世界に引き込まれます。

本には31の話が入っていて、短くて2分、長くても20分ほど。次はどんな話かなと夢中で読んでいたらあっという間に終わってしまいました。中国と日本の死生観の違いのようなものも感じ、非常に面白かったです。
(吉田祐子さん)

人間と幽霊の世界 交錯

「聊斎」とは作者の書斎の名で、世にも「異（不思議）」な話を「志（記す）」という意味の、中国・清の時代の怪奇小説短編集です。

作者が道端にお茶やお菓子を用意し、道行く人から珍しい話を聞き取り集めたのを題材に書いたと伝えられています。

死人に追い掛けられたり化物に殺されかけたりする怖い話もありますが、多くは人間の世

本の中のヒント探そう

ネートはパンケーキが大好きな男の子。その日も朝ご飯にパンケーキを食べていました。ちょうど食べ終わったところで、仲良しのアニーから電話がかかります。アニーの描いた絵がなくなってしまったということです。

ネートは探偵の格好に着替え、アニーの家へ向かいます。まずアニーから話を聞きます。いろんな場所を探したり、絵を

見た人たちから話を聞いたりします。そして見事にアニーの描いた絵を見つけます。

絵はどこにあったのでしょうか。本にヒントが隠れていますよ。しっかり見ると、絵がどこにあるのか、あなたにもわかります。

さあ、あなたもネートと一緒に事件を解決して、名探偵になりませんか。
(高橋憲恵さん)

小学校低学年向け



大日本図書

ぼくはめいたんてい
きえた犬のえ

マージョリー・W・シャーマット 絵／光吉夏弥 訳

勇気ある2人の大冒険

ある日おばあさんが家の前のベンチに座ってコーヒーの豆をひいていました。そこに突然大泥棒のホッツェンプロッツが現れ、おばあさんの大事にしていたコーヒーひきを盗み、どこかへ行ってしまいます。

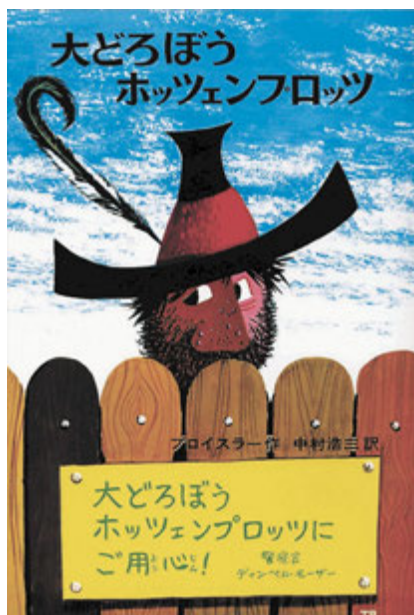
それを知った孫のカスパールと、カスパールの友達ゼッペルは、力を合わせ、おばあさんの大事なコーヒーひきを奪い返そうと決心します。けれどもホッ

ツェンプロッツは、新聞に名前が出ない日がないくらいの恐ろしい泥棒です。しかもどこに住んでいるのかも分からず、警察もなかなか捕まえることができない悪党なのです。

果たして2人は無事にコーヒーひきを奪い返すことができるでしょうか。賢くて勇気のあるカスパールとゼッペルによる、ハラハラドキドキの大冒険が始まります！（今野陽子さん）

大どろぼう
ホッツェンプロッツ

フロイスラー 作／中村浩三 訳



偕成社